

福島第一原子力発電所現地確認報告書

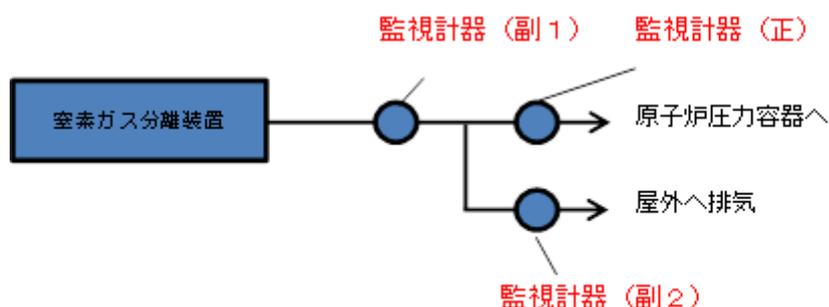
- 1 確認日
令和元年5月31日（金）
- 2 確認箇所
旧事務本館付近
- 3 確認項目
2号機原子炉压力容器窒素封入量を監視している流量計の状況

4 確認結果の概要

前回（5月30日）に引き続き、2号機原子炉压力容器への窒素封入量に係る監視計器の状況について確認を行った。

2号機原子炉压力容器窒素封入系の概略図は（図1）のとおりであり、今回は監視計器（副1）の状況を確認した。

- ・監視計器（副1）は旧事務本館付近の屋外で金属製の配管部分に設置されており、重要設備である旨の標示が掲示されるとともに、パイプ等で監視計器（副1）の近傍一帯が区画されていた。（写真1）
- ・監視計器（副1）及びその配管を目視で確認したところ、異常は確認されなかった。



監視計器（正）：これまで窒素封入量を監視していた計器

監視計器（副1）：監視計器（正）よりも上流側に設置している流量計（総流量）

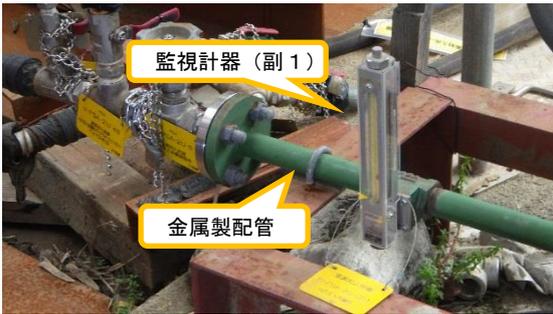
監視計器（副2）：流量調整用の配管に設置している流量計（ブロー用流量）

※ 監視計器（副1）から監視計器（副2）の値を引いて算出し、この値で原子炉力容器へ送られる窒素封入流量を監視している

（図1）2号機原子炉压力容器窒素封入系概略図



(写真1-1)
監視計器 (副1) (北側から撮影)



(写真1-2)
監視計器 (副1) (拡大)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。